



事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
交通安全施設整備事業	都市建設部	建設課	建設班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
交通安全施設等の設置・補修の件数	件	70	74	70		70	

評価	平成30年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	交通安全施設等の設置・補修の要望件数が増加しているなか、施設の老朽化に伴う補修工事や通学路における安全対策なども実施しているところである。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	交通安全施設については、通学路点検による危険箇所の安全対策をはじめ、市の各種計画に位置付けられた道路環境の整備を推進する必要がある。また、既存施設の老朽化による補修が急がれる。道路改良事業など事業費が大きい事業が進んでいない状況を考えると、交通安全施設の設置及び補修は有効であり今後も推進していく。
	令和元年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	



事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
成田財特路線整備事業	都市建設部	建設課	建設班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
道路改良延長	m	0	0	240		260	
用地買収	%	70.76	70.88	78.19		93.50	

評価	平成30年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	国の社会資本整備総合交付金を活用した事業であり、交付額により事業の進捗に影響があるが、平成30年度については交付金を有効に活用し事業を進められた。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	事業規模が大きいため、今後の国の交付金や市の財政状況等から事業費の確保が困難となっている。 しかしながら、成田財特法に基づく「成田国際空港周辺地域整備計画」により実施している事業であることや、当該道路が通学路であるため、歩行者の安全を確保するためにも、可能な範囲で事業を進めていく必要がある。
	令和元年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	



事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
道路橋りょう総務事業	都市建設部	建設課	管理班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
道路台帳の補正延長	km	1	320	1		1	

評価	平成30年度	事業効果	効果があった
		判断理由	道路台帳の補正延長について、補正を行い適正な台帳管理ができた。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	道路行政の円滑に進めるため、引き続き道路事務の適正化を図る。
	令和元年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	



事業(予算)名		部等名		課等名		班等名		
道路登記事業		都市建設部		建設課		用地班		
指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
第四次実施計画	未登記処理件数	筆	10	4	10		10	
評価	平成30年度	事業効果	効果があった					
		判断理由	実績値が目標値を上回ることはなかったものの、主要幹線道路の未登記や、長年の懸案事項であった未登記箇所の処理が進んだため。					
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続					
		今後の方針の理由及び今後の予定	富里市道内に存在する未登記用地を的確に把握し、寄附による権原取得について、引き続き土地所有者との交渉に努める。 また、土地分筆登記を必要とする未登記箇所が多くを占めることから、用地測量業務委託料の確保に努める。					
	令和元年度	事業効果						
		判断理由						
		実績値を踏まえた今後の方針						
		今後の方針の理由及び今後の予定						
	令和2年度	事業効果						
		判断理由						
		実績値を踏まえた今後の方針						
		今後の方針の理由及び今後の予定						



事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
道路維持管理事業	都市建設部	建設課	管理班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
道路賠償責任保険発生件数	件	0	7	0		0	

評価	平成30年度	事業効果	効果があった
		判断理由	要望等の対応や週1回の道路パトロールを実施し、適正な維持管理業務を行った。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	引き続き、良好な道路環境の維持に向けて適正な管理を行う。
	令和元年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

# 第四次実施計画事業シート

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	5020218
-------	----	------	---	-------	---------

➔ 【継続】の場合の区分	継続
--------------	----

部等名	課等名	班等名
都市建設部	建設課	管理班

事業(予算)名	道路維持補修事業							
総合計画体系	施策の大綱		第5章 市民のこころをむすび、可能性を未来につなぐまち					
	施策		施策2 活力を呼び込む交流基盤の整備					
	施策の展開		(2) 生活道路の機能拡充					
予算科目	会計	一般	款	7	項	1	目	2
関連計画・根拠法令等								
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	—				—			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	公共施設等適正管理推進事業債を活用し、道路の老朽化が著しい路線や交通量の多い路線など事業の優先性を考慮し、業者発注による大規模工事を実施している。また、長寿命化計画に基づく橋りょうの点検・補修業務や要望等による緊急補修工事を実施している。本事業に原材料費を計上し、簡易的な補修工事は職員により対応をしている。						
	対象(誰・何を)	市道						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	市道幹線道路や交通量の多い地域で舗装の老朽化(破損等)が著しい路線を対象に、大規模な路線は業者発注により計画的に整備を進めているが、簡易舗装の路線は原材料費及び機械賃借料により、直営工事で整備している。簡易舗装やその他の要望対応は一括管理による道路管理の民間委託や組織体制など事務の効率化を図ることが将来的な課題であるが、現状では、限りある予算を有効活用するため、可能な限り直営工事で対応し、最低限必要な直営工事関連経費を維持することが必要となる。また、大規模な維持補修工事は国庫補助金を活用するが、優先度の高い維持補修事業において、整備計画の達成度は低く、老朽度と整備の進捗度の乖離を解消するにはさらなる事業費の確保が必要となる。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法選択の理由	限りある予算を有効的に活用するため。						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	指標	単位	目標値			指標として設定する理由
			H30年度	R元年度	R2年度	
	舗装繕実延長	km	12	12	12	舗装整備を着実に進めることが、道路の安全性・利便性の向上につながるため
	後期基本計画における指標	単位	実績値 H26年度	目標値 R2年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由	
	成田財得路線整備事業進捗率(事業費ベース)	%	1.3	100	計画的に道路維持補修事業を進めることで、成田財得路線の事業進捗率の向上に寄与する。	
	公共交通機関利用者数	人	1,590,947	1,680,000	計画的に道路維持補修事業を進めることで、公共交通路線整備を促進し、利用者数の増加に寄与する。	
	総合戦略における指標等	単位	基準値(年度)	目標値 R元年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由
		( )				
		( )				
		( )				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
道路維持補修事業	都市建設部	建設課	管理班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
舗装修繕実施延長	km	12	1	12		12	

評価	平成30年度	事業効果	効果があった
		判断理由	実績値は目標値を下回ったが、幹線道路を含め、舗装整備を実施することができたため。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	引続き、道路の維持補修を着実に進めていく。
	令和元年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	



事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
道路改良事業	都市建設部	建設課	建設班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
整備延長	m	700	800	700		700	

評価	平成30年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	限られた予算の範囲内で整備を行った。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	道路改良事業については、生活道路の拡幅や歩道の確保、通学路点検による危険箇所の安全対策等の道路整備を推進する必要がある。 市の財政状況にもよるが、予算が十分ではないこともあり、今後も整備を推進していく必要がある。
	令和元年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	



事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
排水対策事業	都市建設部	建設課	管理班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
排水ポンプ廃止件数	箇所	6	0	5		4	

評価	平成30年度	事業効果	効果があった
		判断理由	社会資本整備総合交付金を活用し、着実に排水整備事業を推進することができたため。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	引続き、冠水解消に向け排水整備事業を進めていく。
	令和元年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	